

リニア駅周辺整備基本構想(案)に対してお寄せ頂いたご意見の概要と市の考え方

区分	通番	お寄せ頂いたご意見の概要	回答に当たっての市の考え方
1③ (パーク＆ライド駐車の適切な確保・配置)	1	バス数十台、乗用車数百台が駐車可能な(立体)駐車場を、低廉な料金で利用できるよう、運営母体の株式会社や、土地所有者が現物出資の株主となる仕組みの創設等、運営方法等も見据えて検討してはどうかか。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 駐車場の整備・運営の主体や方法、あるいは具体的な規模や構造等については、基本構想だけでなく、今年度策定予定の基本計画等において今後検討するので、追記をせず原案のままとします。県や関係自治体等と協議を重ねる中で、台数の検証も含め、引き続き検討を進めて参ります。
	2	乗降客数については、北陸新幹線の状況も踏まえる中で、事業進捗上検討可能な間は再点検・再検討を加え、見直すところは見直して、適切な施設規模を定めるべきである。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 駐車場の整備・運営の主体や方法、あるいは具体的な規模や構造等については、基本構想だけでなく、今年度策定予定の基本計画等において今後検討するので、追記をせず原案のままとします。県や関係自治体等と協議を重ねる中で、台数の検証も含め、引き続き検討を進めて参ります。
	3	駅周辺のコンパクト化のためにも、駐車場については、多層化はもとより、現地の高低差や段差を利用して、適切な規模・形状とされたい。	【基本構想に追記】 現地の状況は、駐車場の規模形状、さらには全体の整備範囲にも大きく影響することから、地域の地形等の条件を踏まえた上で、駐車場の多層化等の検討をしていくことを、基本構想に追記することとします。
	4	パーク＆ライド駐車場については、駅を利用する人々の利便性のみでなく、住民の生活や安全へも配慮して、例えば発災時における住民の一時避難所的なスペース等、駐車場兼用で多目的に利用できるスペースとするべきだ。	【追記をせず原案のまま】(基本構想に包含) 発災時の一時避難等、駐車場を多目的に有効活用することについては、基本構想に取り上げているので、追記をせず原案のままとします。
	5	リニア本体の建設に伴い発生する日影部分については、駐車場面積の最小化も勘案し立体駐車場とし、かつ利便性向上のためdoor to doorの駅と駐車場のあり方も検討してはどうかか。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 駅舎の日影となる部分の範囲については、駅舎の高さ等関連条件が固まっていない状況であることから、基本構想では検討していません。今年度策定予定の基本計画等において今後検討しますので、追記をせず原案のままとします。
1④ (信州の魅力発信施設)	6	新たにリニア駅周辺に生み出される「南信州らしさ」で豊かな地域がイメージできることが魅力と捉えられ、交通インフラという機能の充実とともに、是非南信州オールスターで盛り上げていけるリニア駅であって欲しい。(コミュニティで成長していくリニア駅)	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 地域らしさの表現、地域の魅力の発信の重要性について、基本構想でも広域的な観点から取り上げていますので、追記をせず原案のままとしますが、ご意見を参考とさせていただき、多くの方々や県等の関係機関と議論して参ります。
	7	駅の南側は、伊那谷の各市町村の地場産業の表現の場所も兼ねて、リニアを降り立った人が都会の喧騒を離れ田舎らしい癒しや安らぎを感じることができる緑の空間を構築し、伊那谷の人情や南信州の魅力をより深く、よりきめ細かに伝えていけるような広場と伊那谷の各市町村のウェルカムハウス群を配置してはどうかか。また地域の人々がリニアに乗らなくても訪れたい場所になれば、結果として外の人々にも魅力が伝わっていくことが期待できるのではないのか。	
	8	地元の人達も気軽に立ち寄り、各市町村の採れたて野菜や特産品を直販価格で購入でき、かつエリアの運営の多くの部分は地元消費で支えていくような「南信州マルシェ」を設置してはどうかか。	
	9	駅の南口は、「緑の伊那谷広場」とし、伊那谷の各市町村の生き活きた暮らしをアピールするウェルカムハウス群(仮称「南信州マルシェ」)を設置する。そのどこかのエリアでは常に「伊那谷博」(各市町村が競い合っただけPR)等の催しが開催され、元気なフェスタの高揚感で来客を迎えるようにする。外は牧歌的な景観が広がり建物内は超先進的な技術がある魅力ある田舎とする。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 魅力発信施設の方向性は、基本構想で位置づけていますが、具体的な機能や規模や施設形態については、ご意見を参考とさせていただき、各地での事例等も研究しながら、今年度策定する基本計画等において今後検討しますので、追記をせず原案のままとします。なお、基本構想でも、景観を含む「環境」と「交流」を駅周辺整備の取り組みを進める上での基本的な視点としておられます。

区分	通番	お寄せ頂いたご意見の概要	回答に当たっての市の考え方
続き	10	南口の「緑の伊那谷広場」では、太陽光パネルを設置した木造の回廊が周辺を隠し、南アルプスの山々が視覚的につながるとともに、その木造の回廊沿いに伊那谷の各市町村のウェルカムハウス群(仮称「南信州マルシェ」)がつながって、新たな農村景観が形成できるような、豊かで現代的な田舎暮らしを演出してはいかかがか。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 魅力発信施設の方向性は、基本構想で位置づけていますが、具体的な機能や規模や施設形態については、ご意見を参考とさせていただき、各地での事例等も研究しながら、今年度策定する基本計画等において今後検討しますので、追記をせず原案のままとします。
	11	既に実施している例 ○上水内郡信濃町のワイナリー サンクゼールの中庭 ○小諸駅前停車場ガーデン及び建物 ○品川田町間新駅計画 ○パリのウブド	なお、基本構想でも、景観を含む「環境」と「交流」を駅周辺整備の取り組みを進める上での基本的な視点としているところです。
	12	駅南側は飯田下伊那の魅力を視覚的に、具体的に分かりやすく伝えていく南信州の広場とし、リニアに乗らなくても地元の人々が集まり、自慢したくなったり、人を誘いたくなる場所、あるいはおらほの良いところを紹介したり、人と人をつなぎぐ場所としたい。(フェスタ感が楽しい毎日の演出、採れたて農産物のバザーの開催等)	
	13	3階建ての駅ビルを建設し、1階は地元産品等を扱う観光土産センターと待合室、2階は飲食街、3階は事務所として活用してはいかかがか。	【追記をせず原案のまま】(見解相違) 一般的な駅ビルのような形ではなく、来訪者も地元の人でも利用しやすく、地域らしさや地域の魅力が溢れる魅力発信施設とすることを基本としていますので、追記をせず原案のままとします。
	14	関係市町村毎の独立固定型施設を設けるのではなく、交通広場内の多目的広場を活用して、イベント等を行う場合はテント使用での対応をメインとし、普段はあくまでも広場とするべきである。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 魅力発信施設については、基本構想では交通広場に接した駅舎からは独立した施設を想定していますが、その施設の位置づけ、構造、活用方法等については、今年度策定予定の基本計画等において今後検討しますので、追記をせず原案のままとします。
1 ⑤ (地域の住みやすさに配慮した駅周辺整備)	15	生活道路は現状の機能を維持するとともに、防災面等も十分に勘案する中で地区内市道2路線の整備改修を地元の意見を踏まえて行ってほしい。	【別途協議】 事業に当たっての地元のご要望として承らせて頂き、追記をせずに原案のままとしますが、地域の状況を十分に把握する中で、地元とは別途協議して参ります。
	16	移転対象となる関係者の意向を十分に把握した上で、集合住宅等への対応も含め真摯に検討されたい。	
	17	駅舎下へ駅利用者利便施設の他に、地域の集会施設を設置されたい	
	18	事業に対する地元の不安が増大している状況をしっかりと把握して、その解消のために駅周辺整備範囲の決定時期を早急に明示して欲しい。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) JR東海による駅舎設計の開始時期等、現時点では明確になっていない点もあることから、基本構想では整備範囲を示していません。しかし、その確定は関係者の生活設計に大きく影響することから、基本計画を定める作業の中で、できるだけ早期に明示することとし、基本構想としては追記をせずに原案のままとします。
	19	リニア本体及び道路を含む駅周辺の整備に係る用地について、早急に基本方針を示されたい。	【別途協議】 用地取得業務については、飯田市部分は飯田市がJR東海から受託し、代替地関係等の業務についても飯田市が主体となって対応しますが、事業に当たって具体的な進め方は、地域の状況を十分に把握する中で、地元とは別途協議して参ります。
	20	用地に関し想定される一般的なケースをQ&A方式まとめるとともに、細部については個々に丁寧な対応されたい。また、残地処理を含め、扱いに不公平感がないよう留意されたい。	
21	移転対象となる居住者の移転先について、市が主体となって取り組んでいく旨の方針を、スケジュールとともに早急に明示すること。		

区分	通番	お寄せ頂いたご意見の概要	回答に当たっての市の考え方
続き	22	MICE、宿泊・滞在、文化・交流等の都市活動機能強化施設(箱物)や、「駅に近接して導入するか検討を要する機能・施設」は、駅周辺整備を行うエリア外に設置すること。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 機能配置に関する基本的な方向性は、基本構想に記載していることから追記をせず原案のままとしますが、具体的な機能や規模や施設形態については、地元のご意見も踏まえながら、今年度策定する基本計画等において今後検討していきます。
	23	市リニア推進部職員が常駐する現場事務所を設置されたい。	【別途協議】 事業に当たっての地元のご要望として承らせて頂き、追記をせずに原案のままとしますが、地域の状況を十分に把握する中で、地元とは別途協議して参ります。
	24	リニア中央新幹線の工事中及び開業後の環境影響に関し、地域住民に悪影響や不具合を生じさせないよう、JR・行政・地元の三者立会いによる定期測定を実施し安全性を検証し結果を公表するなど、市がその中心となって、その保全に努めること。	
	25	リニア駅が住宅密集地に設置される予定となっているが、住宅が少ない地域に設置すべきである。	【追記をせず原案のまま】(見解相違) 駅位置及びルート等は、技術的、自然条件的、環境的な観点から、パブリックコメント、県知事や国の意見も踏まえる中で、最終的には工事実施計画の国による認可という形の中で決定されていますが、基本構想の検討範囲外であるので、追記をせずに原案のままとします。
	26	大型バスの通行も勘案し、中央自動車道の飯田市座光寺～高森町の間にジャンクションを作り、自動車専用道路のままリニア飯田駅駐車場へ直接乗り入れるようにしてはどうか。	【追記をせず原案のまま】(見解相違) 中央自動車道とのアクセスについては、新たなジャンクションの設置ではなく、大型バスへの対応も含め座光寺PAへのスマートIC設置により対応することとしています。またリニア駅へのアクセス道路については、現在県および市において検討が進められていますので、追記をせずに原案のままとします。
2 ① ② (中央道との連携強化・各地域拠点へのアクセス機能向上)	27	国道153号の渋滞解消のため、上郷別府一座光寺間の天竜川堤防下にバイパスを建設してはどうか。	【追記をせず原案のまま】(見解相違) 国道153号については、現在県において、リニア駅へのアクセス、渋滞の緩和、安全性の向上を目的として、ルート帯の決定に向け、取り組みが進んでいますので、追記をせずに原案のままとします。
	28	駅周辺の道路整備に関しては、現在の交差点の形状のままでは渋滞緩和は不可能であり、地元住民の横断すらも困難であるので、人も車両も安全でスムーズに流れるよう立体交差化等の機能向上を図るべきである。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 駅周辺の交差点の形状まで基本構想では検討していません。今年度策定予定の基本計画等において今後検討することとし、追記をせず原案のままとしますが、事業に当たってのご意見として参考とさせていただきます。
	29	駅周辺のみでなく、さらにその外側までに視野を広げた県道・市道の改良を加えないと渋滞緩和や機能向上は到底望めない、道路管理者である県と市でよく協議をして進めること。	【別途協議】 事業に当たっての地元のご要望として承らせて頂き、追記をせずに原案のままとしますが、県と市が連携して進めていきますとともに、地域の状況を十分に把握する中で、地元と協議して参ります。
	30	駅周辺のみでなく、さらにその外側までに視野を広げた県道・市道の改良を加えないと渋滞緩和や機能向上は到底望めない。次の段階では、県道市場桜町線の丘の上方面へ拡幅や、防災機能も含めた周辺市道の改良等についても、地元とも協議しつつ計画に加えていくべきである。	

区分	通番	お寄せ頂いたご意見の概要	回答に当たっての市の考え方
続き	31	リニア駅の高架下の南北道路及び街区道路と、駅周辺の県道や国道を結ぶ道路については、地形的条件等も含め、地元と丁寧に協議すること。	【追記をせず原案のまま】(基本構想に包含) 基本構想に高架下のレイアウトと周辺道路とのアクセスに関する基本的な方向性を記載しているため、追記をせず原案のままとしますが、周辺アクセス道路と、南北道路・街区道路とをどう結ぶかは重要な課題ですので、地元と協議をして参ります。
	32	駅周辺の交差点の形状としてラウンドアバウトを検討すべき。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 駅周辺の交差点の形状まで基本構想では検討していません。今年度策定予定の基本計画等において今後検討することとし、追記をせず原案のままとしますが、事業に当たってのご意見として参考とさせていただきます。
2 ③ 飯田線への乗換利便性の確保	33	専用路線バスや路面電車等の新たな交通機関を用いて、リニア駅と最寄りのJR飯田線駅を接続させてはどうか。	【追記をせず原案のまま】(見解相違) リニアとJR飯田線との結節は、他の交通機関への円滑な乗換を可能にするため、他の交通機関による最寄り駅との接続ではなく、JR飯田線元善光寺駅と伊那上郷駅の間に乗換新駅を設置することにより対応したいと考えていることから、追記をせず原案のままとします。
	34	乗換新駅をリニア駅の南側に隣接しかつ軌道高がフードの高さと同じになるような位置に設置すべきである。	【追記をせず原案のまま】(見解相違) リニアとJR飯田線との結節は、用地や費用対効果等を勘案する中で、新たな交通施設機関の軌道敷設によるのではなく、JR飯田線元善光寺駅と伊那上郷駅の間に乗換新駅を設置することにより、他の交通機関への円滑な乗換を実現したいと考えていることから、追記をせず原案のままとします。
	35	リニア本線の軌道上を利用して、乗換新駅との連絡をする。	
	36	乗換利便性向上のため、リニア駅とJR飯田線元善光寺駅の間をモノレールで連結してはどうか。	
	37	リニア駅とJR飯田線を問題なくアクセスさせるため、JR飯田線に並行する形で新たな路線を設けて、その路線上に路面電車やモノレール等の乗り物を運行させるとともに、JR飯田線が単線であることを踏まえ、南北方向どちらを優先するかという課題を回避するために、この新規路線を飯田駅、伊那上郷駅、リニア駅の3駅でJR飯田線に接続させ、乗換利便性を向上させてはどうか。	
	38	魅力ある乗り物によるスムーズな移動により”スマートな旅”を実現すれば地域の魅力が増し、飯田市街の観光あるいは宿泊等の選択肢を考慮してもらえるようになるなど、市街整備の核とすることが可能となるのではないかと。	【追記をせず原案のまま】(見解相違) リニアとJR飯田線との結節は、用地や費用対効果等を勘案する中で、新たな交通施設機関の軌道敷設によるのではなく、JR飯田線元善光寺駅と伊那上郷駅の間に乗換新駅を設置することにより、他の交通機関への円滑な乗換を実現したいと考えていることから、追記をせず原案のままとします。なお、JR飯田線の運行形態やダイヤ等については、県や関係自治体とも調整しながら、JR東海に対し要望して参ります。
	39	またJR飯田線に特急と快速電車を新たに設け、元善光寺駅に停車するようにしたらどうか。	
	40	JR飯田線の元善光寺駅と伊那八幡駅との間を、全線高架方式で直結する路線を設置してはどうか。	【追記をせず原案のまま】(見解相違) 現飯田駅のある中心市街地には、歴史的にも、社会的にもストックがあり、リニア駅周辺地区との間で機能や役割を分担し連携していくことが重要であると考えます。また用地や費用対効果等を勘案する中で、新たな交通施設機関の軌道敷設までは想定していないため、追記をせず原案のままとします。
41	乗換新駅の設置に関して検討できる段階になった時には、設置場所やそこへのアクセス手段の案を、移転家屋を出さずかつ現道を利用したアクセスとする方向で、早急に示し、地元の協議・検討の場を設けること。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) リニアとJR飯田線との結節については、リニアの高速性を活かすために必要となる他の交通機関へのスムーズな乗換を可能にする観点から、リニア駅からなるべく近い位置のJR飯田線上に、乗換新駅を設置したいと考えています。乗換新駅の設置については、基本構想に追記をせず原案のままとしますが、設置位置やアクセス方法等について、地元と十分に調整を取りながら、検討を進めて参ります。	

区分	通番	お寄せ頂いたご意見の概要	回答に当たっての市の考え方
3 ① ② ③ ④ ⑤ (景観づくり)	42	男子トイレをガラス張りにし、南アルプスが眺められるようにする。また長野県の玄関口となるので、地元産の木材を使用した、立派(お金をかけた)な施設にしたい。	【追記をせず原案のまま】(基本構想に包含) 県産材や伝統工芸を活用して、来訪者の心に残るような、日本や信州の文化を感じられる駅空間の形成を目指すことを基本構想で掲げていることから、追記をせず原案のままとします。
	43	「見晴らし広場」と「眺望の丘」の違いが判然としませんが、駐車場の上を避難所機能も含む多目的な活用ができる広場として扱ってみたいかがか。	【基本構想に追記】 「見晴らし広場」は、駅の駐車場の活用を想定する中で、リニア利用者が伊那谷らしい駅周辺の景観に触れることができ、地域住民の交流もできる場としても位置づけています。一方、「眺望の丘」はリニア駅から歩いてアクセスできる距離で伊那谷の素晴らしい自然を体感していただけるような施設として考えています。なお「見晴らし広場」については、駐車場と同様避難箇所としての利用についても想定することとし、基本構想に追記します。
	44	「眺望の丘」に関し、より感動的な「伊那谷らしさ」を味わってもらうには、歩いてアクセスできる距離の範囲内では場所設定が難しいのではないかと。車等の利用も想定し、もう少し上段の地籍へ設ける方がよい。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 「眺望の丘」については、基本構想では、JR飯田線乗換新駅への設置を想定していますが、駅周辺整備の基本計画等の策定を進める中で、地元とも調整しながら、具体的な設置場所を今後検討することとし、追記をせず原案のままとします。
	45	眺望施設を利用する人は、リニア中央新幹線とJR飯田線(秘境駅)のギャップを楽しむ観光客などの少数の人に限られるのではないかと。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 基本構想で、信州・伊那谷ブランドを強化し発信する観点から、「眺望の丘」を地域の豊かな景観を眺望できる施設として位置づけていますので、追記をせず原案のままとします。なお、仕組みづくりについては、今年度策定予定の基本計画等において地域振興への効果、利用者の利便性、仕組みづくり、維持管理等様々な観点から、設置に向けて今後検討していきます。
	46	見晴らし広場、眺望の丘の設置の必要性について、将来の維持管理も検討して再考すべき。	
	47	駅周辺の住環境を良好なものにするためにも、建築物の高さや看板の色等について、明示すべき。	【追記をせず原案のまま】(基本構想に包含) 基本構想で、アクセス道路の沿道や周辺の住宅地における建築物や広告物の、色彩や高さや大きさについて検討することについて記載しているところですので、追記をせず原案のままとします。
	48	リニア将来ビジョンがかかげる「小さな世界都市」という将来都市像の具現化に向け必要となる設備や環境の整備方針を具体化すべきである。	
49	駅周辺の景観・眺望・環境面などから、電線地中化を実施すべき。	【基本構想に追記】 周辺環境に配慮した基盤整備の検討を進める上で、電線の地中化についても触れることとし、基本構想に追記します。	
4 ① (6次産業・先端ビジネス)	50	東京までの通学通勤は、時間的には可能であっても、金銭負担的には厳しいのでは。名古屋(中京)との関係強化にも目を向けるべきである。	【追記をせず原案のまま】(基本構想に包含) 基本構想には、リニアにより地域の特性を活かした産業・ビジネスの強化・発掘・誘致を進めることを掲げており、東京はもとより、中京圏やその他全国からも、様々な人材ネットワークを介して多様な人材が往来する地域を目指すことも含まれると考えることから、追記をせず原案のままとします。
	51	都市住民の「農ある暮らし」「農業体験」等の需要をこの地域に取り込むために、特区等を活用し、整備方法や運営方法や維持管理方法等について検討(土地所有者が団地造成を行い、利用者の家賃や地代収入を充てるとともに、利用者の不在期間の管理を地元農家が優良で請け負う等)しながら、遊休農地を休日農業用の団地として整備し住宅とともに賃貸したりしてみたいかがか。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 基本構想では、二地域居住に向けた取り組みや、観光・産業・生活等の分野での広域連携について記載しているところですので、追記をせず原案のままとします。なお農家民泊などの取り組みによりこれまで蓄積してきたノウハウを、二地域居住のような形で活かすことは可能であると考えますが、具体的な取組方法等は今年度策定予定の基本計画等において今後検討を進めます。

区分	通番	お寄せ頂いたご意見の概要	回答に当たっての市の考え方
4① (6次産業・先端ビジネス)	52	人口増対策のために、定住促進区域の設定をするともに、優良農地を設定してはいいかがか。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 基本構想では、定住促進区域や優良農地に関する検討はしていません。当地域の農業や農村が持つ魅力の発信や、その具体策としての定住促進や優良農地の具体的な区域設定については、今年度策定予定の基本計画等において今後検討していきます。
	53	飯田下伊那地方は少し手を入れれば学習や居住環境がよくなる地域であるので、消費や雇用を増進し地域を活性化するために、八王子市などを参考に特区等を活用しながら有名大学を誘致してはいいかがか。	【追記をせず原案のまま】 リニアを活かした地域づくりを進める上では、「知の集積」の環境を整え多様な人材を誘導し、それにより地域や産業の振興に努めていくことが重要です。飯田市ではこの地をフィールドに学術研究に取り組む大学研究者のネットワーク「学輪IIDA」の形成に取り組むとともに、デザインをはじめとする「大学院大学」設置の可能性を検討しているところです。基本構想では、大学誘致については検討していませんが、こうした人材誘導による地域産業の振興に取り組んでいることから、追記をせず原案のままとします。
4② (観光資源の発掘強化)	54	リニアは人の輸送を目的としていることから、その整備効果を最大限活かせるのは観光と文教事業であると考ええる。	【追記をせず原案のまま】(基本構想に包含) 基本構想には、リニア時代を見据え、多様な人材の往来により先端ビジネスの発掘・誘致・強化を進めることを目指すとともに、リニアの整備効果を活かすべく広域観光やインバウンドも含め、来訪者を惹きつける観光資源の発掘強化についても進めることを掲げていますので、追記をせず原案のままとします。
	55	リニアの整備効果を観光振興に活かすために、中南信を巡る定期観光バスの発着ができるシステムを、早急に(後れを取って、他の地域に飲み込まれないよう)構築すべきである。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 高速観光バスは、駅勢圏を拡げ整備効果を観光に活かす上で重要であり、またリニア駅の交通結節機能の規模にも関係します。そこで今後地元の交通事業者の意向も踏まえながら、今年度策定予定の基本計画等において今後検討するので、追記をせず原案のままとします。
	56	県全体の特産品を扱う大規模店舗、食文化を発信する飲食店、地域文化の保存伝承を兼ねた優良の郷土芸能上演施設を、西部山麓線付近に設置し、リニア駅と路面電車等ローカル色ある乗り物で結んではいいいかがか。	【追記をせず原案のまま】(見解相違) 地場産品や地域の伝統芸能・食文化は、地域の固有の資産として地域の魅力を発信する観光資源であり、魅力発信施設の設置場所は様々考えられますが、リニア駅から離れた施設へのアクセス方法まで新たに設けることまでは想定していませんので、追記をせず原案のままとします。
	57	JR飯田線については、地域住民の足であるローカル線として残すとともに、時間を気にせず車窓から風景を眺めたり秘境駅を訪ねる旅人の利用を想定した観光列車としての活用を考えてはいいかがか。	【追記をせず原案のまま】(基本構想に包含) JR飯田線と対称的な高速なリニアをセットで観光振興に繋げていくことはJR飯田線の活性化のためにも重要と考えており、JR飯田線活性化期成同盟会でも主要事業として広域的に連携して取り組んでいるところなので、追記をせず原案のままとしますが、今後もこうした活動を推進していきます。
	58	世界一のスピードを有するリニアと日本有数のローカル線であるJR飯田線の旅を双方楽しめることを、JR東海を通じてアピールしてはいいかがか。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 飯田下伊那の一本桜は大切な観光資源として定着してきていますが、古木が多く、これを守り伝える必要があります。具体的な対策に関するご意見なので、追記をせずに原案のままとしますが、適切な維持管理については今後も検討を重ねて参ります。
	59	福島県と並んで東西の横綱として紹介されてもいる飯田下伊那の一本桜を観光資源として活用し続けていくために、樹木医の診断を受けてはいいかがか。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 飯田下伊那の一本桜は大切な観光資源として定着してきていますが、古木が多く、これを守り伝える必要があります。具体的な対策に関するご意見なので、追記をせずに原案のままとしますが、適切な維持管理については今後も検討を重ねて参ります。
	60	夏の夜間が涼しいという気候条件を活用して、グラウンド等の整備を行いつつ、スポーツを中心に飯田下伊那地方に夏合宿を誘致してはいいかがか。	【追記をせず原案のまま】(基本構想に包含) 基本構想では新たな観光資源の創出についても記載しているので、追記をせずに原案のままとしますが、ご意見を参考に、当地域の気候条件や自然、さらには伝統的な祭りやイベント等を、観光資源としてブラッシュアップし、この地域の魅力として、シティプロモーション活動等を通じて発信していくことができるよう、取り組んで参ります。
61	日帰り登山(ハイキング)の人気の高いので、愛好者をこの地と呼び込むために風越山を中心としたルートの設定及びトイレ等の関連施設の整備をしてはいいかがか。	【追記をせず原案のまま】(基本構想に包含) 基本構想では新たな観光資源の創出についても記載しているので、追記をせずに原案のままとしますが、ご意見を参考に、当地域の気候条件や自然、さらには伝統的な祭りやイベント等を、観光資源としてブラッシュアップし、この地域の魅力として、シティプロモーション活動等を通じて発信していくことができるよう、取り組んで参ります。	

区分	通番	お寄せ頂いたご意見の概要	回答に当たっての市の考え方
続き	62	今宮神社の秋季祭典を活用してはいかがか。	【追記をせず原案のまま】(基本構想に包含) 基本構想では新たな観光資源の創出についても記載しているため、追記をせずに原案のままとしますが、ご意見を参考に、当地域の気候条件や自然、さらには伝統的な祭りやイベント等を、観光資源としてブラッシュアップし、この地域の魅力として、シティプロモーション活動等を通じて発信していくことができるよう取り組んで参ります。
	63	飯田やまびこマーチは、歴史もあり、実施時期も季節的に良く、素晴らしいコースであるので、特に中京地区での広報を充実するとともに、リニアを利用しての参加者を増やすよう、JR東海にも広報や乗車券とやまびこマーチ参加料とのセット券の販売等の形で協力を依頼してはいかがか。	【追記をせず原案のまま】(見解相違) りんご並木の在り方については基本構想の検討範囲ではないので、追記をせずに原案のままとしますが、多くの市民の関わりの中で整備に関するアイデアが出され、またその後も多くの市民や団体の協力を得る中で維持管理や各種イベント等の開催等の活用がされ、大切な観光資源となっているところです。
	64	りんご並木については、造形物がなかった整備前の姿に戻し、できるだけ造形物をなくし自然体にし、りんごの木が映えるようにした方がよい。	【追記をせず原案のまま】(基本構想に包含) 基本構想では、歴史文化資源をテーマに、来訪者が地域の伝統や文化に触れることができる仕組みづくりを検討することとしており、「ランプリングロード」の形成についても触れていることから、追記をせずに原案のままとします。
	65	リニア駅から「麻績の里の舞台桜」までは歩ける距離なので、桜並木の遊歩道(麻績の里への桜の小径)を設けてはいかがか。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 観光全般に関わることであり、追記をせずに原案のままとしますが、観光客の視点に立った対応は重要であることから、ご意見を真摯に受け止め、現状・課題を整理した上で、対応等について検討します。
4③ (観光振興策)	66	観光案内所に関し、JR飯田線飯田駅、及び飯田インター入口のりんごの里にしても、立地条件がよいのに、職員がいることや設置されていること自体がわからない状況であるので、観光客にとってわかりやすくなるよう改善すべきである。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 観光全般に関わることであり、追記をせずに原案のままとします。観光客の視点に立った施設の在り方は重要ですが、観光地によっては、来訪者の数や来訪時期等から、維持管理を継続するのが困難な場合等もあるので、個別の状況に応じて必要性を検討して参ります。
	67	観光客の視点に立って、観光地のトイレの水洗化を行うべきである。	【追記をせず原案のまま】(基本構想に包含) 駅利用者便利施設については、基本構想では高架下を活用することを想定して検討していることから、追記をせずに原案のままとします。なお詳細は今年度策定予定の基本計画等の中でさらに検討を深めます。
駅周辺の配置イメージについて)	68	駅利用者の便利施設は、できる限り駅下(高架下)へ入れること。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 基本構想では、各機能の配置の基本的な考え方を示すこととし、具体的な計画は今年度策定予定の基本計画等の中で今後検討する考えなので、追記をせずに原案のままとします。実際の地形やアクセス道路の接続状況等の技術的検証や地元の意向も踏まえる中で、ご意見も参考とさせていただきながらゾーニングについて検討して参ります。
	69	眺望施設、駅利用者便利施設、魅力発信施設をひとつにまとめて、駅改札口の正面の出来るだけ近い場所に配置すべきである。3か所に分けては、利便性に問題があり、魅力も半減する。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 基本構想では、中央道との結節に関する機能・施設は、駅北側に配置する一方で、南側にはこの地域の公共交通機能を配置することとしています。これは長野県の南の玄関口としての位置づけも勘案したものです。ゾーニングについては、今後、目指すべきリニア駅の姿を実現する観点からの検証とともに、実際の地形やアクセス道路の接続状況等の技術的検証や地元の意向も踏まえる中で、今年度策定予定の基本計画等において、ご意見として参考とさせていただきながら、今後検討しますので、追記をせずに原案のままとします。
	70	来訪者にとってわかりやすく、地元の人々にとっても行きやすい場所とするために、駅周辺のリニア本線を挟んで南側と北側を、明快に長野県の玄関と南信州の広場としてゾーニングすべきである。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 基本構想では、中央道との結節に関する機能・施設は、駅北側に配置する一方で、南側にはこの地域の公共交通機能を配置することとしています。これは長野県の南の玄関口としての位置づけも勘案したものです。ゾーニングについては、今後、目指すべきリニア駅の姿を実現する観点からの検証とともに、実際の地形やアクセス道路の接続状況等の技術的検証や地元の意向も踏まえる中で、今年度策定予定の基本計画等において、ご意見として参考とさせていただきながら、今後検討しますので、追記をせずに原案のままとします。
	71	北側は長野県の玄関交通関係の諸施設(インフラ)を集中させる。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 基本構想では、中央道との結節に関する機能・施設は、駅北側に配置する一方で、南側にはこの地域の公共交通機能を配置することとしています。これは長野県の南の玄関口としての位置づけも勘案したものです。ゾーニングについては、今後、目指すべきリニア駅の姿を実現する観点からの検証とともに、実際の地形やアクセス道路の接続状況等の技術的検証や地元の意向も踏まえる中で、今年度策定予定の基本計画等において、ご意見として参考とさせていただきながら、今後検討しますので、追記をせずに原案のままとします。
	72	魅力発信施設と駐車場及び交通機能はきちんと分ける(南信州の魅力発信エリアと、交通インフラエリアをきちんとゾーニングする)べきである。最近出来た新幹線新駅の前例を精査して、より進化したリニア駅のあり方に挑戦して欲しい。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 基本構想では、中央道との結節に関する機能・施設は、駅北側に配置する一方で、南側にはこの地域の公共交通機能を配置することとしています。これは長野県の南の玄関口としての位置づけも勘案したものです。ゾーニングについては、今後、目指すべきリニア駅の姿を実現する観点からの検証とともに、実際の地形やアクセス道路の接続状況等の技術的検証や地元の意向も踏まえる中で、今年度策定予定の基本計画等において、ご意見として参考とさせていただきながら、今後検討しますので、追記をせずに原案のままとします。

区分	通番	お寄せ頂いたご意見の概要	回答に当たっての市の考え方
続き	73	駅北側に座光寺SICからのアクセス及び乗換新駅とのアクセスが計画されているが、駅北口は長野県の玄関としての交通機能(地域交通機能や駐車場)を備えるべきである。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 基本構想では、中央道との結節に関する機能・施設は、駅北側に配置する一方で、南側にはこの地域の公共交通機能を配置することとしています。これは長野県の南の玄関口としての位置づけも勘案したものです。ゾーニングについては、今後、目指すべきリニア駅の姿を実現する観点からの検証とともに、実際の地形やアクセス道路の接続状況等の技術的検証や地元の意向も踏まえる中で、今年度策定予定の基本計画等において、ご意見として参考とさせていただきますながら、今後検討しますので、追記をせずに原案のままとします。
	74	リニアの高架構造を生かして南北がどこでも空間的につながっていることが重要であるが、自動車の通行は生活路線の機能補完や幹線に限るべきであり、駅中心部などは車両の進入を防ぐことが重要であると考ええる。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 基本構想では、南北道路の基本的な位置づけについて定めており、具体的な在り方については、今年度策定予定の基本計画等の中で、周辺のアクセス道路との接続等の技術的観点や交通広場の考え方を整理する中で、今後検討しますので、追記をせずに原案のままとします。
	75	南と北の連絡については 車関係は東側と西側の道路で処理し、中央部分は人の通り抜けを考慮して行き来し易い構造としてはいかがか。	
	76	今までの駅の常識にとらわれずに、この地にしか無い個性あるリニア駅を実現するために、駅舎内に自治体の施設等はできる限り設置せず、歩行者用通路としての空間を確保することを優先すべきである。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 基本構想では、高架下には南北道路とともに、まずは乗換利便性の向上を図るための駅利用者利便施設を設置することを想定しているところです。具体的な高架下の活用については、利用条件等を踏まえた上で今年度策定予定の基本計画等の中で今後検討しますので、追記をせずに原案のままとします。
	77	既存の駅にあるような細長いリニア駅の施設は南北を分断することにつながるので、前例主義に陥らずにより良い工夫をすべきである。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 駅周辺整備の基本的考え方として、基本構想では地域らしさを体現できるような方向を考えていることから、ご意見を参考とさせていただきます今後検討することとし、追記をせずに原案のままとします。
	78	「駅周辺整備を検討するエリア」に、乗換新駅の設置を検討するエリアが含まれるのかが明確でない。	【追記をせず原案のまま】(今後検討) 基本構想では、乗換新駅について設置の方向を打ち出していますが、位置やリニア駅からのアクセス方法等具体的な内容については、協議に入った段階で駅周辺整備のエリアと位置づけて、地元の意向を十分に聞く中で検討を進めていきます。基本構想では追記をせずに原案のままとします。